

様式第 2 号（第 6 条関係）

意見交換会実施報告書

実施日時	令和 6 年 1 2 月 3 日（火） 午後 1 時 3 0 分～ 3 時 1 0 分		
実施場所	砺波市役所 3 階 委員会室		
出席議員	山本 篤史	境 佐余子	神島 利明
	境 欣吾	川岸 勇	今藤 久之
参加者数	男性 3 人 女性 2 人 計 5 人 （団体等の名称 砺波市美術協会 ）		
実施概要	テーマ： （１）砺波美術協会の今後の課題について （２）中学生の部活動（地域クラブ）への協力について		
	砺波市美術協会は新砺波市誕生の翌年平成17年に、旧砺波市美術協会と旧庄川町美術協会がいったん解散し、その後対等合併し発足しました。設立当初は126名だった会員は、高齢化や転居などの理由で現在は98名で活動をしているとのことです。 主な活動としては、会員展や夏季研修、恒例のチャリティー頒布会は、大変人気があるとのことでした。また、中学生の部活動地域移行へのアプローチもされており、会員の夏季研修に中学生の参加を可能にした際には、会員も取り組みに力が入るなど、相乗効果があったとのことでした。 会の運営で課題に感じていることは、組織の高齢化と会員数の減少、また活動場所の確保についてなどで、市保有の美術作品の保管場所についても、話題に上りました。 「文化の薫り高い砺波と言われ続けられるようにいたい」との声もあり、芸術が根付いた地域であり続けるために一層のご協力をお願いいたしました。		